武　一　中

令和２年１１月２４日
武蔵野市立第一中学校
学校だよりＲ２－１３号

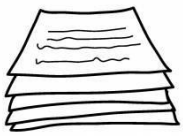
URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

自分を成長させること

校　長　　中嶋　建一郎

先週、期末考査を終えて、テストが返却されています。皆さんの結果はどうでしたか。得点は高いに越したことはないですよね。自分の頑張りに対して、どんな点数が付くのか。関心は高まります。

テストが返却されると平均点が気になります。自分は平均点を超えていたのか。それから仲良しの友達はどうだったのか。最高点はあの人だったのか。



他の人と比較することは、自分がどのあたりにいるのか知ることにつながります。また、ライバルや目標として、自分をやる気にさせる手助けにもなります。

でも、他の人が気になりすぎると、あの人のように出来ない自分を否定的にとらえて、自分はいくら頑張ってもダメだと思ったりしてしまいます。こうなってしまうのは良くないですよね。

私は勉強の目的のひとつは、「自分を成長させること」だと考えています。だから、最終的に比較するのは「自分」なんだと思います。結果や取組み状況、細かく見ていけば、教科別に内容や時間配分などをこれまでの自分と比較してどうだったのか、振り返ります。反省すべき点を確認して、前回より不足しているところがあれば、次回に挽回すれば良いのです。

テストに限らず、このようにして自分を振り返って自分を見つめてみると、自分の考え方や行動のくせがわかってきます。ゲームの誘惑に負けてしまう自分の弱い面や、テスト前の３日間は集中できる強い面などがわかってきます。自分を知り、昨日の自分より一歩でも成長させることを考えましょう。私は皆さんにそういう力をつけてもらいたいと思っています。

最近読んだ立命館アジア太平洋大学学長の出口治明さんの本にシャネルの創業者ココ・シャネルの言葉が紹介されていました。

「私のような大学も出ていない年をとった無知な女でも、まだ道端に咲いている花の名前を一日に一つぐらいは覚えることができる。一つ名前を知れば、世界の謎が一つ解けたことになる。その分だけ人生と世界は単純になっていく。だからこそ、人生は楽しく、生きることは素晴らしい」

「自分を成長させること」を続けていくのは、「学び続けること」と言い換えることもできそうです。私達大人も仕事で必要なことを学んだり、新たな生活様式に対応したり、勉強とは違いますが、日々学び続けています。シャネルの言葉にあるように、「学び続けること」は人生を豊かにすることにもつながるようです。私自身も日々成長しようと思っています。

２４日（火）放送朝礼より